

2022年4月新しい健診システムがスタート!

信頼性・スピード・品質 すべての向上にチャレンジします

事業管理部 経営管理室 室長 吉田 まなぶ

4月より新しい健診システムの運用が始まりました。安定稼働に向けて、日々取り組んでおります。

また、聖隷福祉事業団保健事業部では、システムの更新を機に業務の見直しを図り、「より質の高い人間ドック・健康診断・健康づくりサービス」の提供に全職員で取り組んでまいります。今回はサービス提供の将来の展望についてお知らせいたします。



その1 よりスムーズに・より気持ちよく受診を

- 新しい健診システムは最新のソフトウェア・サーバーとなり、処理速度向上と安定性の両立を図ります。
- 人間ドック・健康診断をご利用の皆様には運用変更等により、お待たせする場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 職員一同「これまで以上の接客・おもてなし」で皆様をお迎えします。

その2 より根拠に基づく高い健診品質を

- 2022年度から、人間ドック学会に準拠した判定基準を採用するなどの見直しを行いました。(コラム①参照)
- 今後は、根拠に基づくデータの蓄積により、健康保険組合様・事業所様へは「最適な健康づくりサービス」のご提案や、職域・地域でのデータ分析による貢献などに取り組みます。
- わが国の健診サービス品質の「スタンダード」づくりに取り組みます。

その3 よりお一人おひとりに合ったご提案を

- これまで問診票は紙に記入いただいておりましたが、事前にスマホなどで簡単に入力ができる「Web問診票」機能を追加する予定です。
- 事前に入力いただいた情報をもとに、人間ドック・健康診断ご利用当日にお一人おひとりに合わせたオプション検査のご提案を可能にします。

その4 より便利に

- 予約センターの電話がつながりにくく、ご迷惑をおかけしております。今後も改善を重ねてまいります。
- 3月から保健事業部のホームページにAIチャットボットを導入しました。(コラム②参照)皆様からの質問に24時間お答えいたします。
- 今後、新しい「Web予約システム」を導入予定です。皆様がより便利に人間ドック・健康診断の予約ができるよう取り組みます。

その5 『見える化』により、健康づくりのお手伝いを

- 現在も人間ドックの結果については、PC・スマホ等で「Seirei WellsPort Navi」からいつでも見ることができます。今後はより使いやすく見やすい仕組みを検討していきます。

コラム ①

昨年度(2021年度)以前の判定区分表示にご注意を! ～判定基準が変わりました～

記事にもある通り、人間ドック学会に準拠した判定基準の採用により、結果報告書に記載された判定区分は、今年度(2022年度)と昨年度(2021年度)以前では表記・内容が異なります。詳しくは右の表をご確認ください。

新しい判定区分 (人間ドック学会基準)		2021年度までの判定区分	
判定	内容	判定	内容
A	異常なし	A	異常なし
B	軽度異常	B	心配なし
C	要再検査・生活改善	C	経過観察
		E(××)	××ヵ月後再検査
D	要精密検査・治療	G	要受診
		E	要精密
E	治療中	F	通院継続

コラム ②

ホームページで、ご質問に24時間お答えします! ～「AIチャットボット」導入!～

保健事業部ホームページ
https://www.seirei.or.jp/hoken/
聖隷 保健事業部



3月から保健事業部のホームページに「AIチャットボット」を導入しました。「AIチャットボット」とは、ネットワーク上のコミュニケーションを示す「チャット」とロボットの略称「ボット」を合わせた造語で、人間と会話をしているような自然な言葉で受け答えをする仕組みです。

よくいただくご質問については、すでにホームページにも情報を掲載していますが、掲載ページを探すことなく、「人間ドックの食事制限はありますか?」や「聖隷健康診断センターの駐車場はどこにあるの?」など、会話形式でご質問いただくだけでAIチャットボットが24時間お答えします。

